

対応方針

当市においては、これまでの積極的な取り組みの結果、平成19年度末における下水道普及率が全国平均の71.1%を大幅に上回る98.2%となっている。また、**汚水・雨水事業とともに、費用効果分析結果が1.0を超えるなど、下水道事業は順調に推移している。**

下水道は、良好な水環境の保全とともに、安全・安心のまちづくり、地域活性化などの観点から必要不可欠な都市基盤施設である。このことから、**引き続き「生活環境の改善」、「公共用水域の水質保全」、「浸水被害の防除」を目的とした施設整備とともに、安定した機能維持に取り組んでいく必要がある。**



事業継続